

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1171
施設名	富ヶ谷ちとせ保育園
施設所在地	東京都渋谷区富ヶ谷1-31-3
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育 食材に触れ観察し五感で感じ、調理や活動を通し興味関心を深める

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・例年、食育活動に力を注いでおり子ども達も興味関心が深い活動である
- ・食材(夏野菜)の栽培を体験しており、食材に興味関心を持って活動する子の姿が多い。
- ・幼児クラスでは作物の育ちに興味がある子が多く、芋ほり遠足や栽培体験を通して探究活動

2. 活動スケジュール

- ・各クラス年間を通しての食育活動の実施
月に1～2回程度を目安とし栽培、調理、食材に触れることを体験する
- ・12月 移動果樹園 みかん狩り 全学年参加
- ・10月 5歳児芋ほり体験
- ・5～6月 幼児クラス夏野菜の栽培体験から調理体験の実施
- ・2月 魚の解体ショー ・米についてのお話し会

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・年間の食育計画を管理栄養士、保育者と立案し子ども達の興味関心また成長に沿った内容で活動が進められるよう会議内で話し合いを行った。
- ・芋ほりやみかん狩りでは実際に食材を収穫できるように体験実施を設定したと共に成長の過程が理解できるよう写真やイラストを用いて説明会を実施した。
- ・夏野菜の栽培では子ども達と種類の相談や、育った植物の様子をクイズ形式にして子ども達と話し合いをしながら予測し探究心が深まる様に流れを作った。また使用するプランターや土、苗などを子ども達と買いに行き期待を高められるよう働きかけた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・各クラス食育活動を定期的に開催し食材に触れたり調理体験が出来る様に対応した
乳児クラス：クッキングや旬の野菜に触れる野菜スタンプなど
幼児クラス：クッキング、野菜の栽培、お米の話会や解体ショーの参加、活動に合わせたディスカッション
年長クラスのみ：サツマイモ掘り
全体：みかん狩り体験

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

5歳年長クラスが芋ほり遠足で掘ってきた芋を園内で掲示して他学年も興味を持つ様子が見られた。乳児クラスはクラス内でもサツマイモに触れ観察する活動を展開したり、幼児クラスでは年長児が掘ってきたもので作れるものを考え、スイートポテトづくりに挑戦するなど、食材から作れるものを自分たちで考え実践する姿が見られた。実際に芋ほりに行った園児から「果物は太陽に当たると甘くなるけど、なんでサツマイモは土の中にあるのに甘いのか?」「お芋の中でサツマイモだけなんで甘いのか?」など考える声が多く上がった。その考えを聞いた保育者も、図書館に行ってみようか?などその後の探求に繋がるような提案をし活動の枠を広げていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

芋ほりや夏野菜収穫、みかん狩りを通じて食物の育ちや収穫に対して興味を持つ子の姿が多かった。また今年度初めて水耕栽培も行ったことで、子ども達の中で食物は土の中や木になるという認識だったものが、水だけでも育つという事に強く興味関心を抱く子も多かった。子ども達自身が考え取り組みたい栽培方法を今後も一緒に探しながら、米や他の栽培にも興味が広がってきている様子を大切にしたい。